

地下水汚染の未然防止のための措置について（素案）

1 構造基準等

- 1) 法第 12 条の 4 の環境省令で定める基準（有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設（以下、「有害物質使用特定施設等」という。）に係る構造、設備及び使用の方法に関する基準（構造基準等））については、以下の表 1－1 から表 6－1 及び表 7 の中欄に掲げるとおりとする。
- 2) 法の施行の際、現に設置されている有害物質使用特定施設等（設置の工事がなされているものを含む。）の構造基準等については、以下の表 1－2 から表 6－2 及び表 7 の中欄に掲げるとおりとする。

2 定期点検等

- 1) 法第 14 条第 5 項の規定による点検は、目視等（設備を用いるなど目視等による方法が困難な場合を除く。）により、以下の表 1－1 から表 6－1 及び表 7 の右欄に掲げる項目及び頻度で行うものとする。法の施行の際、現に設置されている施設（設置の工事がなされているものを含む。）の点検については、目視等（設備を用いるなど目視等による方法が困難な場合を除く。）により、以下の表 1－2 から表 6－2 及び表 7 の右欄に掲げる項目及び頻度で行うものとする。
- 2) 1) の点検により、有害物質使用特定施設等に係る異常又は有害物質を含む水の漏えい又は地下への浸透（以下「漏えい等」という。）が確認された場合には、直ちに補修等の必要な措置を講ずるものとする。
- 3) 1) の点検を行ったときは、次の事項を記録し、これを 3 年間保存しなければならない。
 - ①点検を行った有害物質使用特定施設等
 - ②点検の方法及び結果
 - ③点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたときは、当該措置の内容
 - ④点検実施年月日
 - ⑤点検実施責任者及び点検を実施した者の氏名
- 4) 1) の点検によらず有害物質使用特定施設等に係る異常又は有害物質を含む水の漏えい等が確認された場合には、その内容及び対応結果を記録し、これを 3 年間保存しなければならない。

(参考)

表 1－1 床面及び周囲	表 1－2 床面及び周囲（既設）	表 5－1 排水溝等	表 5－2 排水溝等（既設）
表 2－1 施設本体	表 2－2 施設本体（既設）	表 6－1 地下貯蔵施設	表 6－2 地下貯蔵施設（既設）
表 3－1 配管等（地上配管）	表 3－2 配管等（地上配管）（既設）	表 7 使用の方法	
表 4－1 配管等（地下配管）	表 4－2 配管等（地下配管）（既設）		

表1-1 床面及び周囲

	構造及び設備に関する基準	定期点検の方法															
新設 基準 A基準	<p>1 床面及び周囲の構造</p> <p>1) 有害物質使用特定施設等の設置場所の床面及び周囲は、次の①から④のいずれにも適合すること、又は⑤に適合することにより、有害物質を含む水の地下への浸透及び施設の外への流出を防止できる材質及び構造とすること</p> <p>① 床面は、コンクリート、タイルその他の不浸透材料による構造とすること</p> <p>② 床面は、有害物質の種類に応じ、耐性（耐薬品性）及び不浸透性を有する材質で被覆が施されていること</p> <p>③ 周囲は、有害物質を含む水の流出を防止することのできる防液堤、側溝（流出防止溝）、ためます（受槽）若しくはステンレス鋼の受け皿（以下、「防液堤等」という。）、又はこれらと同等以上の機能を有するものを設置すること</p> <p>④ ③の防液堤等は、想定される流出量分の有害物質を含む水の流出を防止できる容量を確保すること</p> <p>⑤ ①～④と同等以上の措置が講じられていること</p> <p>ただし、</p> <p>①有害物質使用特定施設等の設置場所の床の下の構造が、床面からの有害物質を含む水の漏えいを床の下から目視で容易に確認できるものである場合には上記①から⑤は適用しない。</p> <p>②有害物質使用特定施設等に付帯する配管等（有害物質使用特定施設等の施設本体に接続し、有害物質を含む水が流れる配管本体、継手類、フランジ類、バルブ類、ポンプ設備等を含む。以下「配管等」という。）であって、床面から離して設置されている場合、その設置場所の床面及び周囲（有害物質使用特定施設等の設置場所の周囲を除く。）には上記①から⑤は適用しない。</p>	<p>1 床面及び周囲の構造に係る点検</p> <p>1) 「1 床面及び周囲の構造」の1)の①～④に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 368 2154 499"> <tr> <td>①</td> <td>床面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>防液堤等のひび割れ等の異常の有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> </table> <p>なお、「1 床面及び周囲の構造」の1)の③において、同等以上の機能を有するものを設置する場合は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 627 2154 667"> <tr> <td>①</td> <td>措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table> <p>2) 「1 床面及び周囲の構造」の1)の⑤に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 837 2154 877"> <tr> <td>①</td> <td>措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table> <p>3) 「1 床面及び周囲の構造」の1)のただし書きの①の場合は次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1050 2154 1090"> <tr> <td>①</td> <td>床面のひび割れ等の異常の有無</td> <td>1月に1回以上</td> </tr> </table>	①	床面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上	②	防液堤等のひび割れ等の異常の有無	1年に1回以上	①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度	①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度	①	床面のひび割れ等の異常の有無	1月に1回以上
①	床面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上															
②	防液堤等のひび割れ等の異常の有無	1年に1回以上															
①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度															
①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度															
①	床面のひび割れ等の異常の有無	1月に1回以上															

表1-2 床面及び周囲（既設）

既設基準	1 既設 床面及び周囲の構造	1 既設 床面及び周囲の構造に係る点検								
A 基準	1) 既設の有害物質使用特定施設等の設置場所の床面及び周囲は、次の各号のいずれかによること ① 「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合すること	1) 「1 既設 床面及び周囲の構造」の1) の①に係る点検は、「1 床面及び周囲の構造に係る点検」による。								
B 基準	② 次の表のイに掲げる要件のいずれかに該当する場合には、ロに掲げる基準の(1)及び(2)又は(1)及び(3)のいずれかの要件に適合すること <table border="1" data-bbox="183 491 1191 1082"> <tr> <td data-bbox="183 491 241 874">イ</td> <td data-bbox="241 491 1191 874">(1) 有害物質使用特定施設等に係る施設本体が床面に接して設置され、施設本体の下部に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合 (2) 施設本体が床面及び壁面に接して設置され、施設本体の下部及び壁面に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面及び壁面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合 (3) 施設本体が地下室に設置され、施設本体の下部に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="183 874 241 1082">ロ</td> <td data-bbox="241 874 1191 1082">(1) 施設本体の底面に接する面以外の床面及び周囲について、「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準 (2) 施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置など、漏えい等を確認できる構造とすること (3) (2)と同等以上の措置が講じられていること</td> </tr> </table>	イ	(1) 有害物質使用特定施設等に係る施設本体が床面に接して設置され、施設本体の下部に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合 (2) 施設本体が床面及び壁面に接して設置され、施設本体の下部及び壁面に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面及び壁面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合 (3) 施設本体が地下室に設置され、施設本体の下部に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合	ロ	(1) 施設本体の底面に接する面以外の床面及び周囲について、「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準 (2) 施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置など、漏えい等を確認できる構造とすること (3) (2)と同等以上の措置が講じられていること	2) 「1 既設 床面及び周囲の構造」の1) の②に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。 <table border="1" data-bbox="1220 491 2145 667"> <tr> <td data-bbox="1220 491 1825 579">① 床面及び防液堤等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td data-bbox="1825 491 2145 579">1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1220 579 1825 667">② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無</td> <td data-bbox="1825 579 2145 667">1月に1回以上</td> </tr> </table> ただし、上記2)の②と同等以上の点検項目及び頻度と認められる点検を行う場合には、この限りではない。	① 床面及び防液堤等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上	② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1月に1回以上
イ	(1) 有害物質使用特定施設等に係る施設本体が床面に接して設置され、施設本体の下部に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合 (2) 施設本体が床面及び壁面に接して設置され、施設本体の下部及び壁面に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面及び壁面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合 (3) 施設本体が地下室に設置され、施設本体の下部に点検可能な空間がなく、施設本体の接する床面が「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準に適合しない場合									
ロ	(1) 施設本体の底面に接する面以外の床面及び周囲について、「1 床面及び周囲の構造」に規定する基準 (2) 施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置など、漏えい等を確認できる構造とすること (3) (2)と同等以上の措置が講じられていること									
① 床面及び防液堤等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上									
② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1月に1回以上									
C 基準	2) この省令の施行の日から起算して3年を経過する日までの間は、上記1)の基準に適合していない場合は、「1 既設 床面及び周囲の構造に係る点検」の3)に定める点検を行わなければならない。	3) 「1 既設 床面及び周囲の構造」の2)に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。 <table border="1" data-bbox="1220 1204 2145 1289"> <tr> <td data-bbox="1220 1204 1825 1289">① 床面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td data-bbox="1825 1204 2145 1289">1月に1回以上</td> </tr> </table>	① 床面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1月に1回以上						
① 床面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1月に1回以上									

※地下貯蔵施設については、表1-1又は表1-2にはよらず、表6-1又は表6-2による。

表 2-1 施設本体

新設 基準 A 基準	2 施設本体 ※規定せず	2 施設本体に係る点検 1) 施設本体に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。	
		① 施設本体のひび割れ、亀裂、損傷等の異常の有無	1年に1回以上
		② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えいの有無	1年に1回以上

表 2-2 施設本体 (既設)

既設 基準 A 基準 B 基準	2既設 施設本体 ※規定せず	2既設 施設本体に係る点検 ※「2 施設本体に係る点検」と同じ。	
C 基準	※規定せず	※「2 施設本体に係る点検」と同じ。	

※地下貯蔵施設については、表 2-1 又は表 2-2 にはよらず、表 6-1 又は表 6-2 による。

表3-1 施設本体に付帯する配管等（地上配管）

新設 基準 A 基準	3 配管等（地上配管） 1) 有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する配管等を地上に設置する場合は、次の各号のいずれかに適合することにより、有害物質を含む水の漏えいを防止できる材質及び構造とすること ① 次のいずれの要件にも適合することにより、有害物質を含む水の漏えいを防止できる材質及び構造とすること イ 有害物質を含む水の漏えいを防止できる強度を有すること ロ 有害物質により容易に劣化するおそれのないものであること ハ 配管の外表面は、原則として腐食を防止する方法により保護すること（ただし、当該配管が設置される条件の下で腐食するおそれのないものである場合にあっては、この限りではない） ② 有害物質を含む水の漏えいが目視で容易に確認できるよう床面から離して設置すること	3 配管等（地上配管）に係る点検 1) 「3 配管等（地上配管）」の1)に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。
	① 配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	1年に1回以上
	② 配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	1年に1回以上

表3-2 施設本体に付帯する配管等（既設地上配管）

<p>既設基準</p> <p>A基準</p> <p>B基準</p>	<p>3既設 配管等（地上配管）</p> <p>1) 既設の有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する配管等であって、地上に設置する場合には、次の各号のいずれかによること</p> <p>①「3 配管等（地上配管）」の1)の①に規定する基準に適合すること</p> <p>②原則として有害物質を含む水の漏えいが目視で確認できるように設置してあること</p>	<p>3既設 配管等（地上配管）に係る点検</p> <p>1) 「3既設 配管等（地上配管）」の1)の①に係る点検は、「3 配管等（地上配管）に係る点検」による。</p> <p>2) 「3既設 配管等（地上配管）」の1)の②に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 451 2150 582"> <tr> <td>①</td> <td>配管等の亀裂、損傷等の異常の有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> </table>	①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	6月に1回以上	②	配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	6月に1回以上
①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	6月に1回以上						
②	配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	6月に1回以上						
<p>C基準</p>	<p>2) この省令の施行の日から起算して3年を経過する日までの間は、上記1)の基準に適合していない場合は、「3既設 配管等（地上配管）に係る点検」の3)に基づく点検を行わなければならない。</p>	<p>3) 「3既設 配管等（地上配管）」の2)に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 694 2150 825"> <tr> <td>①</td> <td>配管等の亀裂、損傷等の異常の有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> </table>	①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	6月に1回以上	②	配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	6月に1回以上
①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	6月に1回以上						
②	配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	6月に1回以上						

表4-1 施設本体に付帯する配管等（地下配管）

新設 基準 A基準	<p>4 配管等（地下配管）</p> <p>1) 有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する配管等を地下に設置する場合は、次の①、②、②及び③、又は④のいずれかに適合することにより、有害物質を含む水の漏えい等を防止できる材質及び構造とするか、又は漏えい等があった場合に漏えい等を確認できる構造とすること</p> <p>① 次の要件のうち、イからハのいずれにも、又はイ及びニに適合することにより、有害物質を含む水の漏えい等を防止できる材質及び構造とすること。（※トレンチ内に設置の場合）</p> <p>イ トレンチ（細長い溝）の中に設置し、配管等からの有害物質を含む水の漏えいを確認できる構造とすること。</p> <p>ロ トレンチの底面及び側面は、コンクリート、タイルその他の不浸透材料によること。</p> <p>ハ トレンチの底面の表面は、有害物質の種類に応じ、耐性（耐薬品性）及び不浸透性を有する材質で被覆が施されていること。</p> <p>ニ ロ及びハと同等以上の措置が講じられていること。</p> <p>② 次の要件のいずれにも適合すること。（※地下に埋設する場合）</p> <p>イ 有害物質を含む水の漏えいを防止できる強度を有すること</p> <p>ロ 有害物質により容易に劣化するおそれのないものであること</p> <p>ハ 配管の外面は、原則として腐食を防止する方法により保護すること（ただし、当該配管が設置される条件の下で腐食するおそれのないものである場合にあっては、この限りではない）</p> <p>③ 配管等からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配</p>	<p>4 配管等（地下配管）に係る点検</p> <p>2) 「4 配管等（地下配管）」の1)の①のイからハのいずれの要件にも適合する場合の点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 450 2150 663"> <tr> <td>①</td> <td>配管等の亀裂、損傷等の異常の有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>トレンチの側面、底面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> </table> <p>3) 「4 配管等（地下配管）」の1)の①のイ及びニの要件に適合する場合の点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 748 2150 922"> <tr> <td>①</td> <td>配管等の亀裂、損傷等の異常の有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>「4 配管等（地下配管）」の1)の①のニの要件に係る措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table> <p>4) 「4 配管等（地下配管）」の1)の②に適合する場合（②及び③に適合する場合を除く。）の点検は、次の各号のいずれかに掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1088 2150 1345"> <tr> <td>①</td> <td>配管等の内部の気体の圧力の変動又は配管等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の配管等からの漏えいの点検</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table> <p>5) 「4 配管等（地下配管）」の1)の②及び③に適合する場合の点検は、</p>	①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	1年に1回以上	②	配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	1年に1回以上	③	トレンチの側面、底面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上	①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	1年に1回以上	②	「4 配管等（地下配管）」の1)の①のニの要件に係る措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度	①	配管等の内部の気体の圧力の変動又は配管等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の配管等からの漏えいの点検	1年に1回以上	②	その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検	点検項目に応じた頻度
	①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	1年に1回以上																				
②	配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	1年に1回以上																					
③	トレンチの側面、底面のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上																					
①	配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	1年に1回以上																					
②	「4 配管等（地下配管）」の1)の①のニの要件に係る措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度																					
①	配管等の内部の気体の圧力の変動又は配管等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の配管等からの漏えいの点検	1年に1回以上																					
②	その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検	点検項目に応じた頻度																					

	<p>置、有害物質を含む水の流量の変動を計測するための設備の配置など、漏えい等を確認できる設備を設けること。</p> <p>④ その他の①、②、又は②及び③のいずれかと同等以上に有害物質を含む水の漏えい等を防止できる措置を講ずること</p>	<p>次の①又は②、及び③に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1218 156 2152 371"> <tr> <td data-bbox="1218 156 1279 199">①</td> <td data-bbox="1279 156 1827 199">上記4) の①の検査</td> <td data-bbox="1827 156 2152 199">3年に1回以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1218 199 1279 284">②</td> <td data-bbox="1279 199 1827 284">その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検</td> <td data-bbox="1827 199 2152 284">点検項目に応じた頻度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1218 284 1279 371">③</td> <td data-bbox="1279 284 1827 371">地下配管等からの有害物質を含む水の漏えい等の有無</td> <td data-bbox="1827 284 2152 371">1週間に1回以上</td> </tr> </table> <p>6) 「4 配管等(地下配管)」の④に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1218 499 2152 542"> <tr> <td data-bbox="1218 499 1279 542">①</td> <td data-bbox="1279 499 1827 542">措置に応じた定期点検の項目</td> <td data-bbox="1827 499 2152 542">点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table>	①	上記4) の①の検査	3年に1回以上	②	その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検	点検項目に応じた頻度	③	地下配管等からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週間に1回以上	①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
①	上記4) の①の検査	3年に1回以上												
②	その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検	点検項目に応じた頻度												
③	地下配管等からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週間に1回以上												
①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度												

表4-2 施設本体に付帯する配管等（既設地下配管）

<p>既設基準 A基準</p> <p>B基準</p>	<p>4既設 配管等（地下配管）</p> <p>1) 既設の有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する配管等であって、地下に設置する場合には、次の各号のいずれかに適合すること</p> <p>①「4 配管等（地下配管）」の1)の②に規定する基準に適合すること。</p> <p>②トレンチ中に設置し、漏えいを確認できる構造としてあること。</p> <p>③「4 配管等（地下配管）」の1)の③によること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(再掲)</p> <p>③ 配管等からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量の変動を計測するための設備の配置など、漏えい等を確認できる設備を設けること。</p> </div> <p>④その他の②又は③と同等以上に有害物質を含む水の漏えい等を防止できる措置を講ずること</p>	<p>4既設 配管等（地下配管）に係る点検</p> <p>1) 「4既設 配管等（地下配管）」の1)の①に係る点検は「4 配管等（地下配管）に係る点検」による。</p> <p>2) 「4既設 配管等（地下配管）」の1)の②に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 494 2150 710"> <tr> <td>① 配管等の亀裂、損傷等の異常の有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> <tr> <td>② 配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> <tr> <td>③ トレンチの側面、底面のひび割れ等の異常の有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> </table> <p>3) 「4既設 配管等（地下配管）」の1)の③に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 837 2150 917"> <tr> <td>① 配管等からの有害物質を含む水の漏えい等の有無</td> <td>1週間に1回以上</td> </tr> </table> <p>4) 「4既設 配管等（地下配管）」の1)の④に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1093 2150 1133"> <tr> <td>① 措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table>	① 配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	6月に1回以上	② 配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	6月に1回以上	③ トレンチの側面、底面のひび割れ等の異常の有無	6月に1回以上	① 配管等からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週間に1回以上	① 措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
① 配管等の亀裂、損傷等の異常の有無	6月に1回以上											
② 配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	6月に1回以上											
③ トレンチの側面、底面のひび割れ等の異常の有無	6月に1回以上											
① 配管等からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週間に1回以上											
① 措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度											
<p>C基準</p>	<p>2) この省令の施行の日から起算して3年を経過する日までの間は、上記1)の基準に適合していない場合は、「4既設 配管等（地下配管）に係る点検」の5)に基づく点検を行わなければならない。</p>	<p>5) 「4既設 配管等（地下配管）」の2)に係る点検は、次の各号のいずれかに掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1252 2150 1422"> <tr> <td>① 配管等の内部の気体の圧力の変動又は配管等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の配管等からの漏えいの点検</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> </table>	① 配管等の内部の気体の圧力の変動又は配管等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の配管等からの漏えいの点検	1年に1回以上								
① 配管等の内部の気体の圧力の変動又は配管等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の配管等からの漏えいの点検	1年に1回以上											

		② その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検	点検項目に応じた頻度
--	--	---------------------------------------	------------

表5-1 排水溝等

<p>新設 基準 A 基準</p>	<p>5 排水溝等</p> <p>1) 有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する排水溝、排水ます及び排水ポンプ等の排水系統の設備（以下、「排水溝等」という。）は、次の①、①及び②、又は③のいずれかに適合することにより、有害物質を含む水の地下への浸透を防止することができる材質及び構造とするか、又は地下への浸透があった場合に地下への浸透を確認できる構造とすること</p> <p>① 次の要件のいずれにも適合すること</p> <p>イ 有害物質を含む水の地下への浸透を防止できる強度を有すること</p> <p>ロ 有害物質により容易に劣化するおそれのないものであること</p> <p>ハ 排水溝等の表面は、有害物質の種類に応じ、耐性（耐薬品性）及び不浸透性を有する材質で被覆が施されていること</p> <p>② 排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量の変動を計測するための設備の配置など、地下への浸透を確認できる設備を設けること。</p> <p>③ その他の①又は②と同等以上に排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透を防止できる措置を講ずること</p>	<p>5 排水溝等に係る点検</p> <p>1) 「5 排水溝等」の1)の①の基準に適合する場合の点検（①及び②の基準に適合する場合を除く。）は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 491 2150 579"> <tr> <td>①</td> <td>排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> </table> <p>2) 「5 排水溝等」の1)の①及び②の基準に適合する場合の点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 746 2150 874"> <tr> <td>①</td> <td>上記1)の点検</td> <td>3年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透の有無</td> <td>1週間に1回以上</td> </tr> </table> <p>3) 「5 排水溝等」の1)の③に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1220 1002 2150 1050"> <tr> <td>①</td> <td>措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table>	①	排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上	①	上記1)の点検	3年に1回以上	②	排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透の有無	1週間に1回以上	①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
①	排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1年に1回以上												
①	上記1)の点検	3年に1回以上												
②	排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透の有無	1週間に1回以上												
①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度												

表5-2 排水溝等（既設）

<p>既設基準</p> <p>A基準</p> <p>B基準</p>	<p>5既設 排水溝等</p> <p>1) 既設の有害物質使用特定施設等の施設本体に付帯する排水溝等の構造は、次の①、②、又は③のいずれかに適合すること</p> <p>① 「5 排水溝等」に規定する基準に適合すること</p> <p>② 「5 排水溝等」の1)の②に適合すること (再掲) ② 排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量の変動を計測するための設備の配置など、地下への浸透を確認できる設備を設けること。</p> <p>③ その他の②と同等以上に排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透を防止できる措置を講ずること</p>	<p>5既設 排水溝等に係る点検</p> <p>1) 「5既設 排水溝等」の1)の①に係る点検は「5 排水溝等に係る点検」による。</p> <p>2) 「5既設 排水溝等」の1)の②に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1218 491 2150 663"> <tr> <td>①</td> <td>排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td>6月に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透の有無</td> <td>1週間に1回以上</td> </tr> </table> <p>3) 「5既設 排水溝等」の1)の③に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1218 791 2150 836"> <tr> <td>①</td> <td>措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table>	①	排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	6月に1回以上	②	排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透の有無	1週間に1回以上	①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
①	排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	6月に1回以上									
②	排水溝等からの有害物質を含む水の地下への浸透の有無	1週間に1回以上									
①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度									
<p>C基準</p>	<p>2) この省令の施行の日から起算して3年を経過する日までの間は、上記1)の基準に適合していない場合は、「5既設 排水溝等に係る点検」の4)に基づく点検を行わなければならない。</p>	<p>4) 「5既設 排水溝等」の2)に係る点検は、次の①及び②、又は③に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1218 957 2150 1257"> <tr> <td>①</td> <td>排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無</td> <td>1月に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>排水溝等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の排水溝等からの地下への浸透の点検</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>その他①及び②と同等以上の定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table>	①	排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1月に1回以上	②	排水溝等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の排水溝等からの地下への浸透の点検	1年に1回以上	③	その他①及び②と同等以上の定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
①	排水溝等のひび割れ等の異常の有無、被覆の損傷の有無	1月に1回以上									
②	排水溝等の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の排水溝等からの地下への浸透の点検	1年に1回以上									
③	その他①及び②と同等以上の定期点検の項目	点検項目に応じた頻度									

表6-1 地下貯蔵施設

<p>新設 基準 A 基準</p>	<p>6 地下貯蔵施設</p> <p>1) 地下貯蔵施設本体及び付帯する配管等のうち、地下貯蔵施設本体は、次の①及び②、①から③のいずれにも、又は④のいずれかに適合することにより、有害物質を含む水の漏えい等を防止できる材質及び構造とするか、又は漏えい等があった場合に漏えい等を確認できる構造とすること。</p> <p>① 地下貯蔵施設本体は、次の各号に適合することにより、有害物質を含む水の漏えい等を防止できる材質及び構造とすること</p> <p>イ 貯蔵施設本体は、地下室内に設置する構造、二重殻構造又はその他有害物質を含む水の漏えい等を防止する措置を講じた構造及び材質とすること</p> <p>ロ 貯蔵施設本体の外表面は、原則として腐食を防止する方法により保護すること（ただし、設置される条件の下で腐食するおそれのないものである場合にあっては、この限りではない）</p> <p>② 有害物質を含む水の量を表示する装置を設けること</p> <p>③ 地下貯蔵施設からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量又は貯蔵量の変動を計測するための設備の配置など、漏えい等を確認できる設備を設けること。</p> <p>④ その他①及び②、又は①から③のいずれにもと同等以上に漏えい等が防止できる措置を講ずること</p> <p>2) 地下貯蔵施設に付帯する配管等は、「3 配管等（地上配管）」又は「4 配管等（地下配管）」によること。</p>	<p>6 地下貯蔵施設に係る点検</p> <p>1) 「6 地下貯蔵施設」の1)の①及び②の基準に適合する場合には、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1279 451 2152 663"> <tr> <td>①</td> <td>地下貯蔵施設本体の内部の気体の圧力の変動又は地下貯蔵施設本体の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下貯蔵施設本体からの漏えいの点検</td> <td>1年1回以上</td> </tr> </table> <p>2) 「6 地下貯蔵施設」の1)の①から③のいずれもの基準に適合する場合には、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1279 831 2152 962"> <tr> <td>①</td> <td>上記1)の点検</td> <td>3年に1回以上</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>地下貯蔵施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無</td> <td>1週に1回以上</td> </tr> </table> <p>3) 「6 地下貯蔵施設」の1)の④に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1086 2152 1134"> <tr> <td>①</td> <td>措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table> <p>4) 「6 地下貯蔵施設」の2)に係る点検は、「3 配管等（地上配管）」に係る点検又は「4 配管等（地下配管）」に係る点検によること。</p>	①	地下貯蔵施設本体の内部の気体の圧力の変動又は地下貯蔵施設本体の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下貯蔵施設本体からの漏えいの点検	1年1回以上	①	上記1)の点検	3年に1回以上	②	地下貯蔵施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週に1回以上	①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
①	地下貯蔵施設本体の内部の気体の圧力の変動又は地下貯蔵施設本体の内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下貯蔵施設本体からの漏えいの点検	1年1回以上												
①	上記1)の点検	3年に1回以上												
②	地下貯蔵施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週に1回以上												
①	措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度												

表6-2 地下貯蔵設備等（既設）

<p>既設基準</p> <p>A基準</p> <p>B基準</p>	<p>6既設 地下貯蔵施設</p> <p>1) 既設の地下貯蔵施設のうち、地下貯蔵施設本体は、次の①から④のいずれかに適合すること。</p> <p>① 「6 地下貯蔵施設」に規定する基準に適合すること</p> <p>② 「6 地下貯蔵施設」の1)の要件のうち、②及び③の要件に適合すること。</p> <table border="1" data-bbox="235 454 1243 662"> <tr> <td>(再掲)</td> </tr> <tr> <td>② 有害物質を含む水の量を表示する装置を設けること</td> </tr> <tr> <td>③ 地下貯蔵施設からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量又は貯蔵量の変動を計測するための設備の配置など、漏えい等を確認できる設備を設けること。</td> </tr> </table> <p>③ 次の要件に適合すること。</p> <p>イ 「6 地下貯蔵施設」の1)の要件のうち、②の要件に適合すること。</p> <p>ロ 有害物質を含む水の漏えい等を防止することを目的として、貯蔵設備の内面ライニングを行うこと。</p> <p>④ その他の①又は②と同等以上に有害物質を含む水の漏えい等を防止できる措置を講ずること</p>	(再掲)	② 有害物質を含む水の量を表示する装置を設けること	③ 地下貯蔵施設からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量又は貯蔵量の変動を計測するための設備の配置など、漏えい等を確認できる設備を設けること。	<p>6既設 地下貯蔵施設に係る点検</p> <p>1) 「6既設 地下貯蔵施設」の1)の①に係る点検は、「6 地下貯蔵施設に係る点検」による。</p> <p>2) 「6既設 地下貯蔵施設」の1)の②に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1276 486 2150 582"> <tr> <td>① 地下貯蔵施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無</td> <td>1週に1回以上</td> </tr> </table> <p>3) 「6既設 地下貯蔵施設」の1)の③に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1276 790 2150 997"> <tr> <td>① 地下貯蔵施設本体の内部の気体の圧力の変動又は地下貯蔵施設本体内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下貯蔵施設からの漏えいの点検</td> <td>1年に1回以上</td> </tr> </table> <p>4) 「6既設 地下貯蔵施設」の1)の④に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。</p> <table border="1" data-bbox="1276 1125 2150 1173"> <tr> <td>① 措置に応じた定期点検の項目</td> <td>点検項目に応じた頻度</td> </tr> </table>	① 地下貯蔵施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週に1回以上	① 地下貯蔵施設本体の内部の気体の圧力の変動又は地下貯蔵施設本体内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下貯蔵施設からの漏えいの点検	1年に1回以上	① 措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度
(再掲)											
② 有害物質を含む水の量を表示する装置を設けること											
③ 地下貯蔵施設からの有害物質を含む水の漏えい等を検知するための設備の適切な配置、有害物質を含む水の流量又は貯蔵量の変動を計測するための設備の配置など、漏えい等を確認できる設備を設けること。											
① 地下貯蔵施設本体からの有害物質を含む水の漏えい等の有無	1週に1回以上										
① 地下貯蔵施設本体の内部の気体の圧力の変動又は地下貯蔵施設本体内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下貯蔵施設からの漏えいの点検	1年に1回以上										
① 措置に応じた定期点検の項目	点検項目に応じた頻度										
	<p>2) 地下貯蔵施設に付帯する配管等は、「3既設 配管等（地上配管）」又は「4既設 配管等（地下配管）」によること。</p>	<p>5) 「6既設 地下貯蔵施設」の2)に係る点検は、「3既設 配管等（地上配管）」に係る点検又は「4既設 配管等（地下配管）」に係る点検によること。</p>									

C 基準	3) この省令の施行の日から起算して 3 年を経過する日までの間は、上記 1) の基準に適合していない場合は、「6 既設 地下貯蔵施設に係る点検」の 6) に基づく点検を行わなければならない。	6) 「6 既設 地下貯蔵施設」の 3) に係る点検は、次の各号のいずれかに掲げる項目及び頻度で行う。	
		① 上記 3) の点検	1 年に 1 回以上
	② その他①と同等以上に有害物質を含む水の漏えいが確認できる方法による点検	点検項目に応じた頻度	
	4) 地下貯蔵施設に付帯する配管等は、「3 既設 配管等 (地上配管)」又は「4 既設 配管等 (地下配管)」によること。	7) 「6 既設 地下貯蔵施設」の 4) に係る点検は、「3 既設 配管等 (地上配管) に係る点検」又は「4 既設 配管等 (地下配管) に係る点検」によること。	

表7 使用の方法

	使用の方法に関する基準	定期点検の方法			
新設 基準 A基準 及び 既設 基準 A基準 及び B基準	7 使用の方法 1) 有害物質使用特定施設等に係る作業及び運転は、有害物質が地下に浸透したり、周囲に飛散したり、流出したりしないよう、次の方法で行うこと ① 有害物質を含む水の受け入れ、移し替え、分配等の作業は、有害物質を含む水が地下に浸透したり、周囲に飛散したり、流出したりしないような方法で行うこと ② 有害物質を含む水の補給状況や設備の作動状況の確認等、施設の適正な運転を行うこと ③ 有害物質を含む水が漏えいした場合には、直ちに漏えいを防止する措置を講ずるとともに、当該漏えいした有害物質を含む水を回収し、再利用するか又は環境保全上支障のないよう適切に処理すること 2) 有害物質使用特定施設等の使用の方法（上記1）に係るものに限る。）に関する管理要領が明確に定められていること	7 使用の方法に係る点検 1) 「7 使用の方法」に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。 <table border="1" data-bbox="1279 408 2152 539"> <tr> <td data-bbox="1279 408 1830 539">① 使用の方法に関する管理要領からの逸脱及びそれに伴う飛散、浸透、流出の有無</td> <td data-bbox="1830 408 2152 539">使用の方法に関する管理要領に基づき設定</td> </tr> </table>		① 使用の方法に関する管理要領からの逸脱及びそれに伴う飛散、浸透、流出の有無	使用の方法に関する管理要領に基づき設定
① 使用の方法に関する管理要領からの逸脱及びそれに伴う飛散、浸透、流出の有無	使用の方法に関する管理要領に基づき設定				
既設 基準 （施行後3年まで） C基準	3) この省令の施行の日から起算して3年を経過する日までの間は、上記1)及び2)の基準に適合していない場合は、「6 使用の方法に係る点検」の2)に基づく点検を行わなければならない。	2) 「7 使用の方法」の3)に係る点検は、次の各号に掲げる項目及び頻度で行う。 <table border="1" data-bbox="1279 916 2152 1002"> <tr> <td data-bbox="1279 916 1830 1002">① 有害物質使用特定施設等に係る作業及び運転に伴う飛散、浸透、流出の有無</td> <td data-bbox="1830 916 2152 1002">1年に1回以上</td> </tr> </table>		① 有害物質使用特定施設等に係る作業及び運転に伴う飛散、浸透、流出の有無	1年に1回以上
① 有害物質使用特定施設等に係る作業及び運転に伴う飛散、浸透、流出の有無	1年に1回以上				